

令和3年度 第1回農業大学校外評価会議 議事録

I 日時：令和3年7月2日（金）14：00～15：30

II 場所：大分県立農業大学校 会議室

III 出席者

外部評価委員

大分県指導農業士会 会長	三又 勝弘 氏
大分県農業法人協会 会長	増田 徳義 氏
地元女性農業者	古庄 京子 氏
大分県立農業大学校同窓会 副会長	湯浅 正徳 氏
大分県農業協同組合 常務理事	森本 亨 氏
大分県中部振興局農山漁村振興部 部長	石井 修三 氏

*欠席者：大分県高等学校教育研究会農業部会会長（久住高原農業高等学校長）佐藤智之氏
豊後大野市農業振興課 課長 高野政治氏

IV 議事

1 報告事項

- (1) 令和2年度重点目標等の取り組み結果について (資料1～5 P)
- (2) 令和3年度 大分県立農業大学校の概要について (資料6～7 P)

2 審議事項

- (1) 令和3年度運営方針を踏まえた数値目標と主な対策について (資料8～9 P)
(追加説明) カリキュラムの見直し(案)について

<委員からの主な意見・要望等>

- ・各種免許、特に大特やけん引については、学生にしっかり取らせてほしい。一般農家の受験者数は増やせないか。
- ・学生募集では各種資格・免許の取得が可能であることをPRすべき。
- ・農業系高校、特に新設された農業高校からの入学者数はどのような状況か。
- ・農業法人への就職は勉強の場、生計を立てるためには自営が必要ではないか。将来的に自立する人材を育成していただきたい。
- ・畜産についてはゼロから（新規に）経営をスタートするのは困難ではないか。
- ・1年生の農家体験研修について。
 - ▶3週間が長いかわるか、法人では受け入れが難しいところもあるだろう。通いだと対応できる法人は多いはず。
 - ▶10年間農大生の研修を受け入れてきた。いろんな学生がいて、今でも連絡を取り合っている。宿泊研修の受け入れで大変なのは嫁。昔は「自分の行きたい農場（全国）で3ヶ月間の研修」という組み合わせだった。大変だったがいい勉強になった。
- ・農業生産活動だけでなくグリーンツーリズムなど幅広く農村という視点での教育も大事では。

*閉会后、委員は農大農産物直売所「みどりの風」を視察。